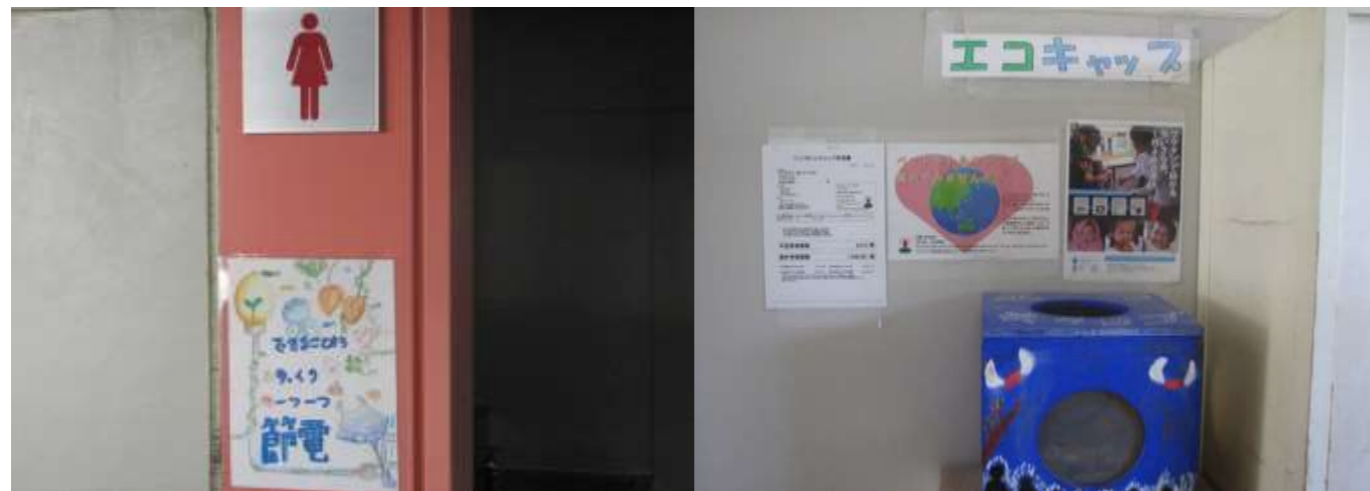


取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	節電節水を呼びかけるポスターを作る。	美術部生徒	美術部生徒・教頭	美術部が作製してくれた節電や節水を呼びかけた環境ポスターを校内のトイレ脇などに掲示した。また、その中から10作品がイオンと茅ヶ崎市役所で開催された「スクールエコアクション活動展」で展示されました。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 新しいポスターを作成してもらい、トイレの入口や蛇口のところに貼ることで注意喚起ができた。 【今後の課題】 次年度は各教室前の手洗い場のポスターを作成してもらう。 【次年度への引継ぎ事項】 美術部顧問への依頼をする。
資源・4R・廃棄物削減の取組	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	制服・ジャージ等のリサイクル 卒業生に使用しない制服を寄付してもらい、在校生保護者に販売する。	保護者会・教頭	保護者	新入生保護者説明会で制服、ジャージ、体操着、体育館履きのリサイクル商品をバザーで取り扱い、多くのリサイクル商品が売れた。 日頃から印刷物の裏紙を使用し、紙の使用量を減らした。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 ジャージ等のリサイクルやプリントの裏紙の使用及びエコキャップ運動を継続できた。 特に、保護者向けの文書は、コクーを通じてPDFで送信しているため、紙の使用量を削減できた。 【今後の課題】保護者向けの文書を電子データ送信することはとても有効なので継続していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】担当への引き継ぎをしっかりと行う。
		2	プリントの裏紙の利用 ゴミを減らすため裏紙を再利用する。	教頭・教職員	職員		
		3	保護者向け文書のデジタル化 紙文書を削減する。	職員	職員		
		4	エコキャップ運動 生徒や地域の方々に呼びかけを行い、エコキャップ回収に取り組む。	環境委員会	全校生徒・職員		
生きもの・みどり	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てます。	1	花壇の手入れ 地域の方々や保護者と花の植え替えを行う。夏季休業中には生徒のボランティアを募り、水やりを行い、花を育てる。	地域の方々 保護者会・職員 生徒会	職員・ボランティア	定期的に地域の方々と体育館前及び事務室前の花壇の花を、そして、保護者会の方々にはロータリー周辺のプランター内の花を植え替えていただいた。夏季休業中には生徒に水やりボランティアを募り、休業中に水やりを実施してもらった。 自然観察会の第1回目を7月に真鶴半島三ツ石海岸の潮だまりで海洋生物を採取し、講師から採取した生物について説明を受け、真鶴半島の自然の特徴について学んだ。 第2回目では11月に茅ヶ崎市内の自然を学習する活動を実施した。里山公園や清水谷で学習し、駒寄川では講師の方と水中生物を採取して、説明をいただいた。共に事後学習では個人新聞を作成し、校内に掲示した。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】草花や生物を通して自然を大切にすることを育てたと思う。 【今後の課題】 草花の植え替えについては生徒にも声をかけていきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 生徒会担当教員に相談する。
		2	自然観察会(山) 里山公園・清水谷・駒寄川をグループで観察する。	1学年職員	1年生徒・職員		
		3	自然観察会(海) 真鶴半島の海や山の生物の観察を行う。	1学年職員	1年生徒・職員		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



地域の方々や保護者と花の植え替えを行いました。夏季休業中には生徒のボランティアを募り、花壇やプランターの水やりを協力してもらいます。



美術部に依頼をして、節電や節水に関する環境ポスターを作製してもらい、校内のトイレ脇などに掲示して、節電や節水に意識を高めました。

生徒や地域の方々に呼びかけを行い、エコキャップ回収に取り組みました。校門前や香川公民館の回収ボックスのでも多くのキャップを回収しました。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

山口 茂

【今後の方向性について】

- ・社会の授業や道徳などを利用してSDGsについて考える機会を増やしていきたい。あわせて、全校生徒を対象とした講演会などを行いたい。
- ・体育大会や合唱コンクールと言った学校行事と関連付けて。エコ活動を行えるよう生徒会や実行委員に投げかけていく。
- ・令和6年度より、給食が開始するので、食べ残し等が少しでも減るように食育に絡めて生徒に伝えていく。